

【News Release】

2020年度「JAPAN LIVE YELL project」の応援ムービーが

第59回JAA広告賞 グランプリ受賞

生活者の視点で「心に響く」広告を表彰する、国内唯一の広告賞

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会（以下、芸団協）は、コロナ禍により深刻な影響が続く文化芸術活動の開催を支援し、出演者、スタッフ、ファンなどライブ・舞台芸術に関わるすべての人の気持ちを力強く後押しする全国規模の事業「JAPAN LIVE YELL project（ジャパン・ライブエール・プロジェクト）」を、文化庁の支援のもと2020年より実施しています。

この度、2020年度に制作した応援ムービー『ライブのリレー』が、公益社団法人日本アドバイザーズ協会（JAA）が主催する「第59回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」のデジタル広告部門において、JAA賞グランプリを受賞しました。エール・アンバサダーを務めていただいた松任谷由実さんの楽曲『春よ、来い』に、ご協力いただいた61の個人・団体の想いと、その先にいる全国の関係者の想いを乗せて、日本の多彩なライブ・舞台芸術・芸能を紡いだ作品です。

■第59回2020・2021(令和2・3)年度 JAA 広告賞 受賞結果

<https://www.jaa.or.jp/assets/uploads/docs/59th-award.pdf>

■JAA賞グランプリ デジタル広告部門『ライブのリレー』（日本芸能実演家団体協議会）



（審査員コメント）

生で観る楽しみが減ってしまい、心から応援したいと思った。沢山の人にシェアしたくなったし、また楽しみたいと思わせてくれた。こんな時だからこそそのライブ・音楽・舞台芸術の力を感じた。

このムービーは、コロナ禍において活動の場を失っていた全国のライブ関係者を応援する目的で制作しました。当プロジェクトの趣旨に賛同しエール・アンバサダーとして力強い応援をいただいたシンガーソングライターの松任谷由実さんをはじめ、音楽プロデューサーである武部聡志さんや鳥山雄司さん、そして全国各地の音楽・演劇などの芸術家、地域芸能の方々、子供たち、メジャーアーティスト、スタッフなど、61もの個人・団体の皆様にご出演・ご協力いただきました。名だたる企業等による素晴らしいデジタル広告作品226点が並ぶ中で、『ライブのリレー』がグランプリに選ばれたことは、ご協力いただいた皆様の想いが、そしてその先にいる全てのライブ関係者とファンの皆様の想いが伝わったものと受け止めております。

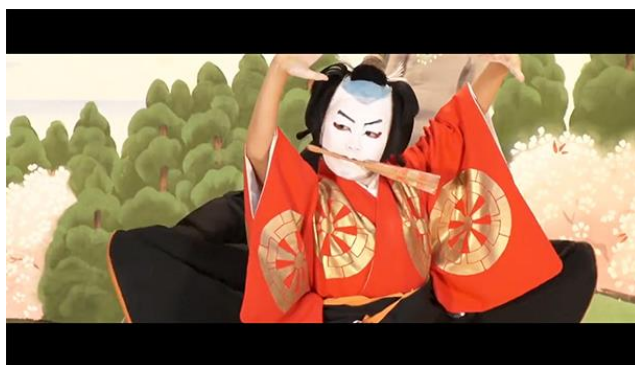
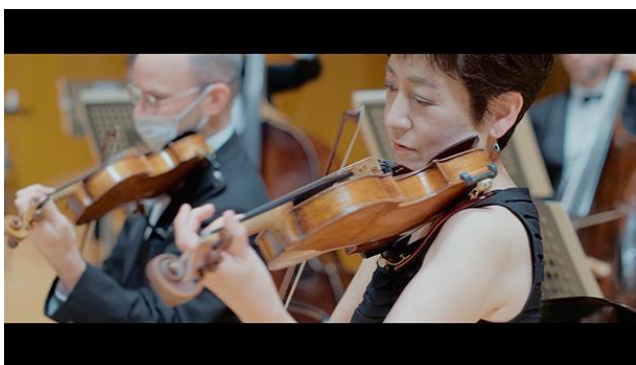
特に、本広告賞の特徴は一般消費者が審査員となり、生活者の視点で選考する点にあり、生活者である国民の方々に選んでいただいたことは、文化芸術は生きていく上で必要なものだとの信念を持ちつつも、悩みながら活動を続けてきたライブ関係者を大変勇気づけるものです。いまだ困難な状況が続いていますが、全国の関係者と、ライブを愛する皆様と共にこの受賞を喜び、文化芸術の復興に向けて歩みを進める力としてまいります。

■今回の受賞作品『ライブのリレー』について

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界から突然「ライブ」が消えました。プロのアーティストだけでなく、表現を支えるスタッフ、プロを目指す若手や子供たち、全国で芸能やパフォーマンスを楽しんできた地域芸能やアマチュアの皆さん、場を提供してきた劇場・ホールや興行事業者など全てのライブ関係者が、生きがいを感じ、もがいていました。もちろん、生きがいを失ったのは音楽や舞台を愛する多くの国民の皆さんも同じでした。

かけがえのないライブの魅力を思い出し、共に繋がり、前を向いていこう。そんな想いを込めて、日本の多様で豊かな芸能や舞台芸術を紡ぐ『ライブのリレー』を制作しました。

[動画リンク] <https://jlyp.jp/2020/about/#movie>



■ご協力いただいた61の個人・団体のみなさま (敬称略)

[ピアノ] 坂下幸太郎

[舞台技術] 昭和音楽大学 テアトロ・ジーリオ・ショウワ、オーケストラ・アンサンブル金沢、金井大道具株式会社、株式会社パシフィックアートセンター (PAC)、株式会社 NUGGETS

[歌手] 平原綾香

[バレエ] 東京バレエ団

[人形劇×ひとり芝居] 平常(たいらじょう)、

映像提供: ヴォイス・ファクトリー株式会社

[能] 公益社団法人能楽協会、映像協力: augment5 Inc.

[演劇] ミュージカルカンパニーイツフォーリーズ

[神楽] 大元神楽伝承保存会 (今田舞子連中)、協力: 公益財団法人しまね文化振興財団

[ダンス] 埼玉県立杉戸高等学校ダンス部、協力: 公益財団法人埼玉県産業文化センター (SONIC CITY)

[ジャグリング] 小林智裕、協力: 奥村優子

[フィジカルシアター] to R mansion、協力: 奥村優子

[漫才] ナイツ

[合唱] 長崎居留地ドレミファンタジー、指揮: 原さとみ、協力: 長崎 OMURA 室内合奏団

[マジック] 山上兄弟、映像提供: 公益社団法人落語芸術協会

[人形浄瑠璃] 淡路人形座

[日本舞踊・長唄] 一般社団法人長唄協会、公益社団法人日本舞踊協会

[演劇] ゼロからはじめる中高生のための演劇シリーズ、協力: 宮古市民文化会館

[コンテンポラリーダンス] 大前光市

[落語] 三遊亭小遊三

[オーケストラ] オーケストラ・アンサンブル金沢、指揮: 太田弦

[朗読劇] 文学座

[演劇] みやこ市民劇、協力: 宮古市民文化会館

[舞踊] あきた舞妓、映像提供: 秋田県

[ジャズ] 宮崎ジャズデイ 2020・ユネスコ 430

[朗読パフォーマンス] 森山未来

[マスクプレイミュージカル] 劇団飛行船

[人形劇] 冬の野外人形劇、協力: 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

[地芝居] 「新富座こども歌舞伎」の会

[獅子舞] 藤琴豊作踊り、映像提供: 秋田県

[舞踊] Noism Company Niigata

[ミュージカル] 東宝株式会社演劇部

[マーチング] 慶誠高等学校、映像協力: 株式会社テレビ熊本

[日本舞踊] 日本舞踊家集団 弧の会

[マーチング] 専修大学玉名高等学校、映像協力: 株式会社テレビ熊本

[神楽] 隠岐島前神楽保存会、協力: 公益財団法人しまね文化振興財団

[音楽] 武部聡志、鳥山雄司

[企画協力] 有限会社雲母社

松任谷由実

■ 「JAA 広告賞」について

本コンクールは1961年に創設され半世紀以上の歴史を有する総合広告賞で、審査員に広告の関係者を含まず、広告の受け手である消費者が生活者の視点から審査を行う国内唯一の広告賞です。審査基準は、「好感、共感、親近感もてる広告であるか（感性）」、「わかりやすく、納得できる広告であるか（理性）」、「オリジナリティが感じられる広告であるか（創造性）」という3つの観点で、一般消費者審査員が約1カ月に渡り選考を行います。

2021年は新型コロナウイルス感染症の拡大で開催が見送られたため、第59回となる今回は、2019年10月1日～2021年9月30日に国内で出稿された広告に審査対象を拡大し、全1530点の広告から119人の審査員が新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、デジタル、屋外・交通の6部門で各賞を選考しました。デジタル広告部門では、トヨタ自動車株式会社や株式会社NTTドコモなどの広告作品226点の応募の中から、芸団協「JAPAN LIVE YELL project」の『ライブのリレー』がグランプリに選ばれました。

■ 「JAPAN LIVE YELL project」について

2020年度より文化庁の緊急支援を受け、音楽・演劇・ダンスなど生の舞台の開催を全国各地で後押しするプロジェクト。最大の特徴は、芸術団体や事業者が単独で行う助成事業と異なり、都道府県単位で様々な団体が連携し、プロジェクトを組んで推進している点です。連携することによって、芸術団体やスタッフが熱意を取り戻し、感染症対策をはじめとする様々なノウハウを共有できるだけでなく、地域全体でライブを中心とする盛り上がりを作り、文化芸術によって地域を元気にすることにも寄与しています。

2020年は、『ライブへのエール。ライブからのエール。』をテーマに、全国27都道府県で、地域の特色を生かした個性豊かなプログラムを展開し、リアル・オンラインを合わせ延べ71万人の方が参加しました。

2021年度は、『ライブで会おうよ。』を新たなテーマに設定し、全国28地域が主体となって、芸術団体・行政機関・企業等が連携しながら、多種多様な公演・イベントを展開しています。

[公式サイト] <https://jlyp.jp/>



[2021年度 プロジェクトムービー]

2020年度に制作した受賞作品『ライブのリレー』はライブを表現する側を取り上げました。2年目の2021年度は、ライブを楽しむ側にフォーカスし、『ライブで会おうよ。』をテーマにプロジェクトムービーを作成。シンガーソングライターの森山直太朗さんが本プロジェクトのためにリアレンジした「花」に乗せて、ライブを通して出会う様々なワクワクやドキドキをエモーショナルに描いています。

[動画リンク] <https://youtu.be/sB-HVm-ImWM>



■事業概要

- ・事業名：「JAPAN LIVE YELL project」（ジャパン・ライブエール・プロジェクト）
- ・公式サイト：<https://jlyp.jp/>

[2020 年度]

- ・実施期間：2020 年 8 月～2021 年 3 月
- ・実施地域：27 都道府県
北海道、岩手県、秋田県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県
- ・主催：文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／27 都道府県の実施主体
※文化庁令和 2 年度戦略的芸術文化創造推進事業

[2021 年度]

- ・実施期間：2021 年 4 月～2022 年 1 月
- ・実施地域：28 都道県
北海道、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- ・主催：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／28 都道県の実施主体
- ・助成：文化庁「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」（地域連携型）

【本件に関するお問合せ先】

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 実演芸術振興部内
JAPAN LIVE YELL project 事務局 担当：川島・関
TEL：03-5909-3060 / FAX：03-5909-3061 / E-mail：info@jlyp.jp